



1学期中間考査真っ只中！ 今置かれている状況を確認！

昨年度もこの時期、中間考査について米工 MAKERS を書かせてもらいました。そこでは、「考査」そのものの「意味」や、問題を解く生徒だけでなく、教員の側もそれまで行ってきた授業がどうだったかが問われるものであり、その意味では教員も「考査」されているのだ、というようなことを書いたように記憶しています。

今年度は、「意味」というより、考査の「意義」について自分なりの考えをお伝え出来たらと思います。私は1年生の学年主任ですが、各学年における「意義」も考えてみましょう。

- ① 1年生・・・1年生にとっては高校生活初の考査ということになります。今後3年間の指標となる試験と言えます。特に中学校までではなかった教科・科目などが、どのようなテストで、何の力を見定める問題なのか、イメージをつかむことが重要です。また、この時期はまだ中学校までの知識も活かしますので、しっかり貯金をつくる気持ちで取り組みましょう。
- ② 2年生・・・2年生はこの1学期がちょうど高校3年間の「中間地点」となります。「えっ？2学期じゃないの？」と思うかもしれませんが、この後3年生のところでも紹介しますが、「中間地点」は1学期なのです。将来なりたい自分に対して、現在の達成度はどうでしょうか？「振り返り」と「目標設定」の考査として取り組んでください。
- ③ 3年生・・・3年生にとっては、実質的に就職・進学試験等を受験するうえで、非常に重要な意味をもつのが1学期です。就職・進学試験は2学期の途中で行われることがほとんどだからです。もちろん2学期以降は、卒業と社会人準備の期間として大切ですが、まずは1学期を高校生活の集大成として取り組みましょう。

ということで、学年別に俯瞰した形で1学期中間考査の「意義」を考えてみました。3年間の時間は皆さんに平等です。そして有限です。1日1日を積み上げていってください。昔高校生だった者からのアドバイスとさせていただければ幸いです。



【行事予定】 5月16日(火)～19(金)：1学期中間考査、自転車点検
19日(金)：頭髪服装指導

